

機械器具 (25) 医療用鏡
一般医療機器 組織収納サック JMDN 70169000

テクノバッグ (ラージタイプ)

再使用禁止

【警告】

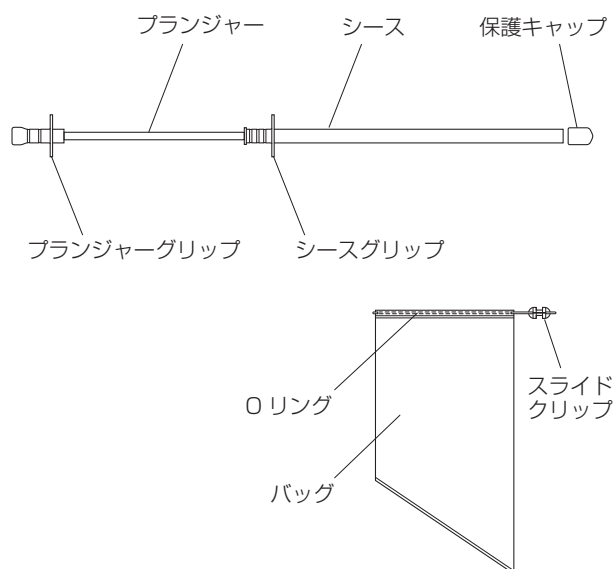
- ・ バッグ本体を鉗子等の手術器具で強く把持しないこと。[バッグが破損するおそれがある。]
- ・ 高温、又は電極を有する手術器具には触れさせないこと。[バッグが破損するおそれがある。]
- ・ 使用前に必ず保護キャップを取り外すこと。[腹腔内で脱落するおそれがある。]
- ・ バッグを閉じる場合は、開口部のOリングを必要以上に強く把持しないこと。[Oリングが破断するおそれがある。]

【禁忌・禁止】

- ・ 再使用禁止
- ・ 本品は、内視鏡下外科手術に用いられる器具であり、それ以外の症例には適応禁止。

【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>



(材質)

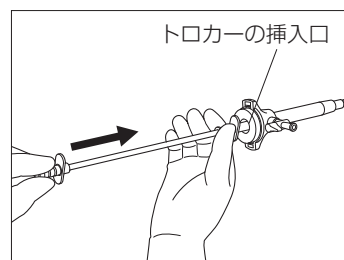
シース	ポリエチレン
ブランジャー	ポリエチレン
バッグ	ポリウレタン
シースグリップ	ポリカーボネート
保護キャップ	ポリ塩化ビニル
スライドクリップ	ポリアセタール
Oリング	クロロプレンゴム (シリコンコート付)
ブランジャーグリップ	ポリカーボネート

【使用目的又は効果】

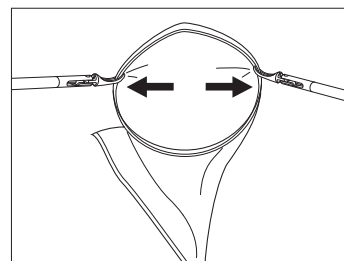
- ・ 内視鏡下の手術で腹腔内に挿入する器具で、分離した組織の分散を防ぎ、組織を隔離、収納するために用いる。

【使用方法等】

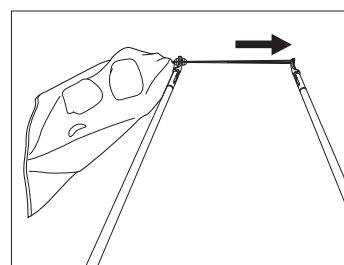
1. 本品を汚染に十分注意しながら包装内より取り出し、傷、汚れ等、異常がないことを確認する。
2. シース先端に触れないよう注意しながら保護キャップを取り外す。
3. トロカーの挿入口からシース先端を挿入する。
4. シース内にブランジャーをゆっくり押し込み、シース先端からバッグを腹腔内に投下する。



5. 投下したバッグ開口部の縁を鉗子先端で把持し、バッグの開口部を開き、切除した組織を収納する。



6. スライドクリップを鉗子先端で把持し、バッグ開口部を閉じる。



7. 閉じたバッグを小切開口等まで誘導し、体外へ取り出す。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・強引にバッグを開かないこと。[バッグが破損するおそれがある。]
- ・組織収納後のバッグは、適切な小切開口より取り出すこと。また、取り出す際に、必要以上に強い力で引き抜かないこと。[バッグが破損し切除した臓器および、液体が漏洩するおそれがある。]
- ・本品は、手技に熟練した医師又はその管理下で使用する。
- ・バッグ容量を考慮して使用すること。
[バッグ容量約300mL]

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

＜有効期間＞

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）
TEL 03-3882-3101

